

Dell EMC 仮想マシン向けRecoverPoint

非常に強力な、VMwareによるオンプレミスおよびクラウドへのレプリケーションとリカバリー

要点

サマリー

- VMLレベルの細分性によるVMware仮想マシンの保護
- 仮想化管理者はプラグインを介してVMware vCenterから作業
- クラウドへの費用対効果に優れたディザスター リカバリー、15分の低いRPO
- あらゆるタイプのストレージとアプリケーションをサポート

価値

- 信頼性の高い反復可能なプロセスによってOR/DRのデータ保護ワークフローを合理化
- ビジネス ニーズおよびデータ保護ニーズの変化にすばやく対応
- テストと開発で別々に使用するレプリカを提供することでアプリケーションの開発サイクルを短縮
- データセンターの移行を最小限の中断で実行
- バックアップ操作にオフサイトレプリケーションを利用することで本番サイトへのインパクトを回避
- データ保護に関する必須のSLA (Service Level Agreement) にVMware管理者が対応可能
- Dell EMC Storage Analytics (ESA) を介してVMware vRealize Operations Managerと統合することにより、仮想化インフラストラクチャを詳細に可視化



Dell EMC RecoverPoint® for Virtual Machinesは、VMware仮想マシン (VM) のデータ保護を新たに定義し、ローカルレプリケーション、リモートレプリケーション、ローカルとリモートの同時レプリケーションを実現します。さらに、継続的データ保護によって任意のポイントインタイム (PIT) へのオンプレミスリカバリーを可能にします。VMwareハイパーバイザーをベースとしたこのソリューションはあらゆるストレージとアプリケーションに対応します。組み込みのオーケストレーションとオートメーションには、VMware vSphere Web Client プラグインでアクセスできます。ディザスターリカバリー戦略においてクラウドがさらに重要な位置を占めるようになった場合、RecoverPoint for Virtual MachinesはAWSおよびVMware Cloud on AWSにレプリケートします。

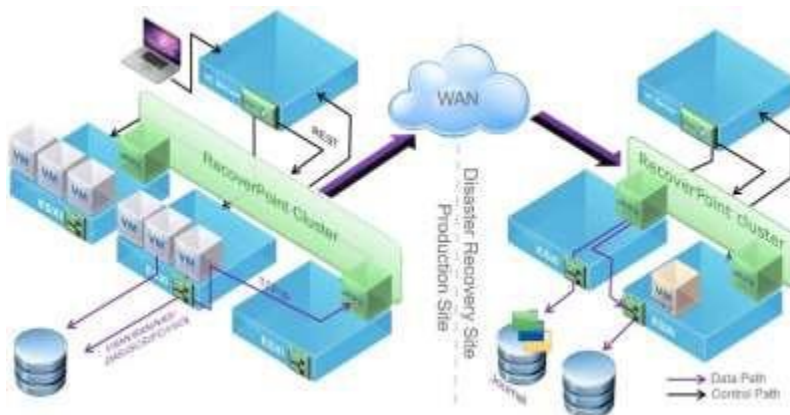
メリット

- オンプレミスでの継続的データ保護を有効化し任意のPITへのリカバリー
- AWS S3への費用対効果に優れた専用スナップショットレプリケーションを提供
- オンプレミスとクラウドへの並列レプリケーションを実行
- 相互に依存するアプリケーションのリカバリーの整合性を確保
- 同期 (sync) /非同期 (async) レプリケーションのポリシーを提供
- 専用コンシステンシーグループ (CG) とコンシステンシーグループセットを使用してデータを保護し、1つのアプリケーションまたは相互に依存する複数アプリケーションのリカバリーの整合性を確保
- マルチサイトサポートを提供。一元化されたディザスターリカバリーサイトへの4:1のファンインによって複数の支社を保護し、1:4のファンアウトレプリケーションによって開発/テスト運用を実現
- vSphere 6.7U1およびvSAN 6.7U1を含むvSphere環境をサポート

任意のポイントインタイム：オンプレミスソリューション

VMwareとの緊密な統合により、RecoverPoint for Virtual MachinesはVMLレベルの単位でVMを保護します。仮想化管理者は、vCenterプラグインを使用して、ターゲットサイトの単一または複数のVMに対するローカルまたはリモートでの保護のほか、ディザスターリカバリーのテストのための自動化された検出、プロビジョニングおよびオーケストレーション、ならびに任意のPITへのフェールオーバーおよびフェイルバック、加えて高度なオーケストレーション (VM電源投入順序など) を実行できます。仮想化管理者は、CGおよびグループセットを使用することで、VMware ESXクラスター全体で相互に依存するアプリケーション間の整合性を維持しながら、選択したポイントインタイムへのリカバリーを実施できます。たとえば、ビジネス分野の一例を示すと、販売注文システム、支払いトランザクション、在庫管理、サプライチェーンマネジメントなど (これらはすべて仮想マシンに展開される)、エンドツーエンドのビジネストランザクションプロセスの運用を適切にリストアするパワフルな機能を活用できます。

RecoverPoint for Virtual Machinesでは、任意のポイント イン タイムへのリカバリーを実行するために、ジャーナル ベースの実装を使用して、保護対象のデータに対して行われたすべての変更のポイント イン タイム情報が保持されます。「DVRに似た」ロールバック イン タイム機能により、最新のPiTに最短時間でリカバリーでき、選択した任意のPiTへのRPOが短いため、データの破損が発生した数秒前の状態までリカバリーを実行して、エラーを元に戻すことができます。



費用対効果に優れたクラウド ディザスター リカバリーに最適なテクノロジー

仮想マシン専用のスナップショットベースのレプリケーションにRecoverPointを使用し、VMを直接AWS S3オブジェクト ストレージで保護する機能があります。RPOは分単位であり、VMCやEC2インスタンスへと柔軟にリストアできます。クラウド内において、このソリューションではクラウドのコピーが管理され、ネイティブのAWS EC2インスタンスやVMware Cloud on AWS SDDC内で実行されているVMへのリカバリー フローが実行されます。RecoverPoint for Virtual Machinesは導入と管理が容易であり、次の方法によってコストも抑えます。

- AWS S3にコピーを保存し、オンデマンドのリストア サービスを使用する
- リカバリーが必要な場合、VMware Cloud SDDCをオンデマンドで実行する
- スナップショット ベースの専用レプリケーションを使用し、最初はフルコピーを作成してその後は変更のみをキャプチャする。また、保存ポリシーに従って、クラウド内で統合する。

RecoverPoint for Virtual Machinesのクラウド機能では、クラウドを、ディザスター リカバリー サイト、保護階層、保護の追加レイヤーとして使用できます。



次のステップ

EMC RecoverPoint for VMがお客様の組織にもたらすメリットの詳細については、Dell EMCのセールス担当者または認定販売店にお問い合わせください。また、Dell EMCストア (<https://store.emc.com/RP>) でソリューションをご覧ください。



Dell EMC RecoverPoint for VMsの詳細情報



Dell EMCエキスパートに問い合わせる



他のリソースを表示